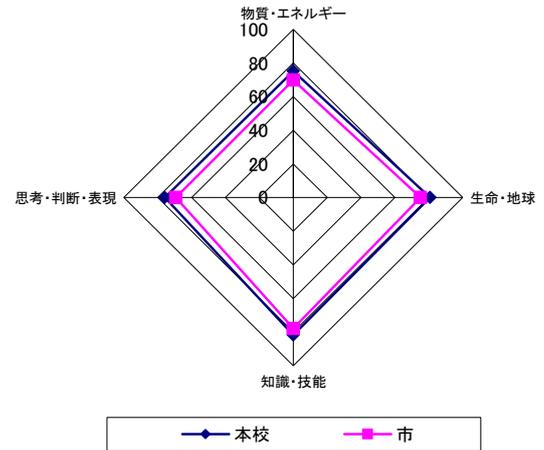


# 宇都宮市立富士見小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	75.2	69.9	67.8
	生命・地球	80.7	75.1	73.7
観点別	知識・技能	81.7	77.8	78.4
	思考・判断・表現	75.8	69.4	66.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>○本領域の平均正答率は75.2%で、市の正答率を5.3ポイント上回った。</p> <p>○「ふりこが1往復する時間とふれはばの関係を調べるための対照実験を計画できる」の平均正答率は82.4%で、市の正答率を13.4ポイント上回った。</p> <p>○「二酸化炭素が増えたことを石灰水を用いて調べることができる」の平均正答率は87.0%で、市の正答率を15.4ポイント上回った。</p> <p>○「溶け残った食塩をすべてとかす方法がわかる」の平均正答率は62.0%で、市の正答率を13.2ポイント上回った。</p> <p>●「実験の電磁石が引きつけるクリップの個数について、正しいものを指摘できる」の平均正答率は78.7%で、市の正答率を1.0ポイント下回った。</p>	<p>●電磁石の中を流れる電流の大きさとコイルの巻き数との関係を条件を確認しながら実験するようにする。</p>
生命・地球	<p>○本領域の平均正答率は80.7%で、市の正答率を5.6ポイント上回った。</p> <p>○「くきを縦に切ったときの断面の、水の通り道のように理解している」の平均正答率は86.1%で、市の正答率を8.1ポイント上回った。</p> <p>○「アイガモ農法は食物連鎖を利用して、イネの成長を助けていることを記述できる」の平均正答率は66.7%で、市の正答率を10.1ポイント上回った。</p> <p>○「観察カードの月のようすから、月を観察した時刻を推測できる」の平均正答率は65.7%で、市の正答率を5.8ポイント上回った。</p> <p>●「食物連鎖について理解している」の平均正答率は84.3%で、市の正答率を2.2ポイント下回った。</p>	<p>●「食べる・食べられる」の関係を食物連鎖ということを確認し、意味を正しく理解した上で、植物連鎖など文字の間違いに気を付けるように指導する。</p>